

行政の窓

スマート林業の取組について

◆はじめに

本道では、カラマツやトドマツなど人工林資源が充実するとともに、素材生産量や高性能林業機械の導入台数が全国一であり、他県に比べて広大で地形が平坦である優位性を活かし、北海道ならではの林業が展開されています。

このような中、今後、森林づくりを担う人材の不足が懸念されており、限られた労働力で、適切な森林の整備・管理を進めるためには、ICT等の新たな技術の活用を一層進め、本道の豊かな森林資源の価値を最大限に引き出すことができるよう、北海道らしいスマート林業を全道に広めていくことが重要です。

◆令和4年度(2022年度)の取組

(1) 産学官による実証

道内の市町村や森林組合、木材関連団体、大学、研究機関、道などの産学官からなる「スマート林業EZOモデル構築協議会」では、国事業「スマート林業実践対策」を活用し、ICTハーベスタやiPad端末に搭載されるレーザーなどを使用した生産情報の管理や検知省略の試行、川上と川下間で素材生産情報の相互利用など、モデル的な取組について各地域で実証に取り組んでいます(写真1)。



写真1 ICTハーベスタやiPad端末に搭載されるレーザーなどを活用した実証

(2) スマート林業機器の導入支援

また、スマート林業の導入を一層推進するために、「北海道スマート林業導入支援事業」により、森林資源を把握するためのドローンや自走式の下草刈り機械、丸太の自動計測システムなど、23林業事業体等に対して導入支援を行いました(写真2)。



写真2 導入された自走式の下草刈り機械

(3) スマート林業技術の普及

さらに、道では「スマート林業構築推進事業」により、道内各地域でICTを用いた機械等の現地実演会の開催や(写真3)、ICT機器の事業体での試行など、様々な技術の普及に向けた取組を展開していきますので、ご興味がある方は是非ご参加・お問合せください。

今後、YouTubeチャンネルで、スマート林業に関する取組実績や実演会の様子などを随時配信していきますので、是非ご覧ください。



写真3 現地実演会の様子

～YouTube チャンネル～

昨年度の取組などは
こちらから



北海道スマート林業 YouTube

(水産林務部林務局林業木材課林業木材係)